

## 時事テーマ出題予想 講義

講師 アガルートアカデミー 田島圭祐

### 1. 核戦争

#### 一 戦後の核拡散の歴史

##### ①戦後の核保有国

- ・1949年ソ連が原爆実験を成功させ核保有国になる。
- ・1952年アメリカが原爆よりも威力が強い水爆実験を成功させる。
- ・1952年イギリスが核を保有する。
- ・1960年にフランスが独自の核実験により核を保有。
- ・1964年にアメリカやソ連へ対抗するために中国が核兵器を保有。
- ・1974年インドが核保有国となる。
- ・1998年インドに対抗してパキスタンが核保有国となる。
- ・1998年に北朝鮮がパキスタン国内において核実験を行い、核保有国となる。

##### ②核保有の疑いがある国

- ・イスラエル・イラン・シリア・ミャンマー。

##### ③かつての核保有国

- ・ウクライナは1996年までに核を国内の親ロシア派主導でロシアへ移管した。
- ・ベラルーシ1996年までにすべての核兵器をロシアへ移管した。
- ・カザフスタン1995年までにすべての核兵器をロシアに移管した。
- ・南アフリカは1990年に核兵器をすべて廃絶した。

#### 二 戦後の世界の核抑止

##### ①部分的核実験禁止条約（PTBT）1963年締結

- ・1962年のキューバ危機をきっかけに、1963年にアメリカとソ連が主導で、PTBTが締結された。

##### ②核兵器不拡散条約（NPT）1968年締結

- ・核兵器保有を米・英・仏・ソ・中に限定して、その他の国の核開発や核保有を認めず。

##### ③包括的核実験禁止条約（CTBT）1996年国連総会で採択→未発効

- ・核爆発を伴う全ての核兵器の実験の禁止。アメリカがボイコットするなどで未発効。

##### ④核兵器禁止条約（2017年）

- ・前文に核兵器使用によって犠牲になった人々（Hibakusha）を明記。
- ・条約成立にはNGO核兵器国際キャンペーンが（ICAN）が貢献した。
- ・アメリカ、フランス、イギリス、日本は参加せず。